

福祉教育講座を行いました

7月13日に福祉教育講座として、ふれあいの郷もくせいより横谷様、細見様に講師として来ていただき、1年生対象に車いすの使い方、3年生対象に介護体験をそれぞれ指導していただきました。また手話サークル「もみじ」より塩見様、古川様に講師として来ていただき、手話体験をさせていただきました。大変貴重な機会をいただきありがとうございます。

小・中学でも車いす体験をしていましたが、車いすの開け方と閉め方など忘れていて、今日の車いす体験をしていい勉強になりました。もしも、家族とか、親戚、友達が車いす乗ることになるときが来るかもしれないので、使い方についてしっかりと覚えておきたいです。車いすを押す方は簡単でしたが、乗ると怖かったので、乗ってる人の気持ちがわかりました。とてもいい経験になりました！

(1年生)



これまで手話の講座はあまりなかったので、今回講座を受けられてよかったと思います。もし私の進路先が福祉関係になったら、手話を使うことがあるかもしれないと思いました。自分の進路のことで、これから先の生活のことを考えるいい講座になったと思います。あいさつの手話ができるようになったので、耳が聞こえない人に会ったら普通にあいさつができるようにしたいと思いました。

(2年生)

体中に重りを付け、視界が悪くなる眼鏡をかけたクラスメートがとても大変そうにしていたので、この状態で日常生活をするとかなり厳しいと思った。

介助の体験をしたときに、人をベッドから起こして車いすに座らせる一見大変そうに見える動きのなかにもポイントや工夫があることを初めて知った。日常生活でも活用してみようと思った。

人を起こしたり、車いすに乗せたりするのは簡単だと思っていたけど、実際に体験してみるととても難しいことがわかりました。

私は将来介護の仕事に就きたいのでどうやったらいいのかを教えてください、良い経験になりました。今日学んだことをしっかり生かしていきたいと思いました。

(3年生)

